

**【全国各地の雄花の状態】**

携帯サイト「ウェザーニュース」には、「サポーター」と呼ばれる有料会員が160万人おり、サポーターからは天気などに関する様々なリポートが日々寄せられています。下記の写真は、サポーターから寄せられた全国の『雄花リポート』で、これらの情報は、きめ細かい貴重な実況値として、飛散予測などに役立てられています。

			
11月13日 岩手県花巻市	11月19日 千葉県成田市	12月8日 群馬県沼田市	11月13日 静岡県磐田市
			
12月8日 福井県福井市	11月27日 奈良県桜井市	11月22日 高知県土佐市	12月8日 長崎県長崎市

各エリアの傾向		
エリア	花粉量(前年比)	飛散時期(前年比)
北海道 (シラカバ花粉)	数倍多い(過去5年で最も多い)	遅め
	<p>北海道の6月～9月の最高気温、日照時間は過去5年間で最高になりました。7月の気温は例年より低めでしたが、夏～初秋にかけては全般に高めの傾向で、最高気温が観測開始以来、もっとも高くなった所もありました。また最高気温が35度以上の猛暑日を観測した地点もありました。6月～8月の日照時間は多め、降水量は少なめで、日照時間は記録的に長い所や降水量も記録的に少ない所もあったのが特徴的です。</p> <p>また2007年のシラカバ花粉飛散数は少なく、過去最低となった所もありましたが、これは前年6月の気温が低く、日照時間が短かったためだと考えられます。今年の6月は気温も高く、日照時間も長かったため、来春の飛散は、2007年の数倍多く、過去5年で最も多い飛散になりそうです。シラカバの飛散開始は、3月の気温に大きく影響されると考えられますが、来年は春の訪れが早くなると考えられるため、早ければ4月上旬くらいに飛散が開始するものと思われれます。</p>	

東北北部	2倍以上(過去5年で最も多い)	遅め
	<p>東北北部の6月～9月の最高気温、日照時間は過去5年間で最高になりました。7月の気温は例年より低め、日照時間も短めでしたが、夏～初秋にかけては全般に気温は高め、日照時間は長めの傾向で、最高気温が観測開始以来、もっとも高くなった所もありました。降水量は6月～8月で少なめでした。</p> <p>来春の飛散は、少なくとも2007年の2倍以上で、過去5年間で最も多くなりそうです。飛散開始は異常に早かった2007年に比べると遅くなりますが、春の訪れは早くなると考えられるため、3月上旬には飛散が開始するものと思われる。</p>	
東北南部	2倍以上(過去5年で2番目に多い)	遅め
	<p>東北南部の6月～9月の最高気温、日照時間は過去5年間で最高になりました。7月の気温は例年より低め、日照時間も短めでしたが、夏～初秋にかけては全般に気温は高め、日照時間は長めの傾向で、最高気温が観測開始以来、もっとも高くなった所もありました。降水量は6月～8月で例年並から多めでした。</p> <p>来春の飛散は、少なくとも2007年の2倍以上で、過去5年間で2番目に多くなりそうです。過去5年間で一番多く飛散したのは2005年の春ですが、その年の半分程度の飛散も考えられます。飛散開始は異常に早かった2007年に比べると遅くなりますが、春の訪れは早くなると考えられるため、2月下旬には飛散が開始するものと思われる。</p>	
関東	2倍以上(過去5年で2番目に多い)	ほぼ同じ
	<p>関東の6月～9月の最高気温、日照時間は過去5年間で2番目に高い値になりました。7月の気温は例年より低め、日照時間も短めでしたが、夏～初秋にかけては全般に気温は高め、日照時間は長めの傾向でした。特に8月～9月は記録的な高温で、埼玉県熊谷では40.9℃と国内最高気温を更新するなど、観測開始以来、もっとも高くなった所もありました。降水量は6月～8月で例年並から少なめでした。</p> <p>来春の飛散は、少なくとも2007年の2倍以上で、過去5年間で2番目に多くなりそうです。過去5年間で一番多く飛散したのは2005年の春ですが、その年の半分程度の飛散も考えられます。春の訪れは早くなると考えられるため、飛散開始は早かった2007年とほぼ同じくらいで、2月上旬と思われる。</p>	
北陸・甲信北部	同じ～やや多い (過去5年で2番目に多い)	遅め
	<p>北陸の6月～9月の最高気温は、過去5年間で2番目に高く、日照時間は過去5年間で3番目に多くなりました。7月の気温は例年より低め、日照時間も短めでしたが、夏～初秋にかけては全般に気温、日照時間共に例年並か高めの傾向でした。降水量は6月～8月で例年並、9月が少なめでした。</p> <p>来春の飛散は、2007年よりやや多めですが、一部エリアではほぼ同じくらいで、過去5年間で2番目に多くなりそうです。過去5年間で一番多く飛散したのは2005年の春ですが、その年の3分1以下と考えられます。飛散開始は異常に早かった2007年に比べると遅くなりますが、春の訪れは早くなると考えられるため、2月中旬には飛散が開始するものと思われる。</p>	
東海・甲信南部	2倍程度(過去5年で2番目に多い)	ほぼ同じ
	<p>東海の6月～9月の最高気温は、過去5年間で3番目に高く、日照時間は過去5年間で2番目に多くなりました。7月の気温は例年より低め、日照時間も短めでしたが、夏～初秋にかけては全般に気温は高め、日照時間は長めの傾向でした。特に8月～9月は記録的な高温で、岐阜県多治見では40.9℃と国内最高気温を更新するなど、観測開始以来、もっとも高くなった所もありました。降水量は6月～8月でほぼ例年並でした。</p> <p>来春の飛散は、2007年の2倍程度で、過去5年間で2番目に多くなりそうです。過去5年間で一番多く飛散したのは2005年の春ですが、その年の半分程度の飛散が考えられます。春の訪れは早くなると考えられるため、飛散開始は早かった2007年とほぼ同じくらいで、早ければ2月上旬と思われる。</p>	

近畿	やや多い～同じ (過去5年で2番目に多い)	ほぼ同じ
	<p>近畿の6月～9月の最高気温は、過去5年間で3番目に高く、日照時間は過去5年間で2番目に多くなりました。7月の気温は例年より低め、日照時間も短めでしたが、夏～初秋にかけては全般に気温、日照時間は例年並か高めの傾向でした。降水量は6月～8月で例年並から多めで、9月が少なめでした。</p> <p>来春の飛散は、2007年よりやや多めで、一部エリアではほぼ同じになり、過去5年間で2番目に多くなりそうです。過去5年間で一番多く飛散したのは2005年の春ですが、その年の半分程度と考えられます。春の訪れは早くなると考えられるため、飛散開始は早かった2007年とほぼ同じくらいで、2月10日前後と思われます。</p>	
山陰	ほぼ同じ	ほぼ同じ
	<p>山陰の6月～9月の最高気温は、過去5年間で3番目に高く、日照時間は過去5年間で2番目に少なくなりました。7月の気温は例年より低めでしたが、夏～初秋にかけては全般に気温は高めの傾向でした。また日照時間は全般に短めでしたが8月だけ長く、降水量は多めで9月だけが少なめでした。</p> <p>来春の飛散は、2007年とほぼ同じくらいになりそうです。春の訪れは早くなると考えられるため、飛散開始は早かった2007年とほぼ同じくらいで、2月10日前後と思われます。</p>	
山陽	やや多い～同じ	ほぼ同じ
	<p>山陽の6月～9月の最高気温、日照時間は過去5年間で3番目に高い値になりました。7月の気温は例年より低め、日照時間も短めでしたが、夏～初秋にかけては全般に気温は高め、日照時間は例年並か高めの傾向でした。降水量は、7月は多めでしたが、その他の月は少なめでした。</p> <p>来春の飛散は、2007年よりやや多めか一部エリアではほぼ同じになりそうです。過去5年間で一番多く飛散したのは2005年の春ですが、その年の3分1程度と考えられます。春の訪れは早くなると考えられるため、飛散開始は早かった2007年とほぼ同じくらいで、2月10日前後と思われます。</p>	
四国	やや多い	ほぼ同じ
	<p>四国の6月～9月の最高気温は、過去5年間で3番目に高く、日照時間は過去5年間で2番目に多くなりました。7月の気温は例年より低め、日照時間も短めでしたが、夏～初秋にかけては全般に気温、日照時間は高めの傾向でした。降水量は7月は多めでしたが、その他の月は少なめでした。</p> <p>来春の飛散は、2007年よりやや多めで、過去5年間で3番目に多くなりそうです。2005年・2006年の春には多く飛散しましたが、その年の半分程度と考えられます。春の訪れは早くなると考えられるため、飛散開始は早かった2007年とほぼ同じくらいで、2月上旬と思われます。</p>	
九州北部	やや多い～同じ	ほぼ同じ
	<p>九州北部の6月～9月の最高気温は、過去5年間で一番高く、日照時間は過去5年間で2番目に少なくなりました。7月の気温は例年より低め、日照時間も短めでしたが、夏～初秋にかけては全般に気温は高めでしたが、日照時間は8月以降に長めの傾向になりました。降水量は7月が多めで、その他の月は例年並から少なめでした。</p> <p>来春の飛散は、2007年よりやや多めで、一部エリアではほぼ同じくらいで、過去5年間で3番目に多くなりそうです。過去5年間で一番多く飛散したのは2005年の春ですが、その年の3分の1～半分程度と考えられます。春の訪れは早くなると考えられるため、飛散開始は早かった2007年とほぼ同じくらいで、2月上旬と思われます。</p>	

	やや多い	ほぼ同じ
九州南部	<p>九州南部の6月～9月の最高気温は、過去5年間で一番高く、日照時間は過去5年間で3番目に多くなりました。7月の気温は例年並でしたが、その他の月は高く、日照時間は6月～7月が短めで、8月～9月が長めになりました。降水量は7～8月で多くなっています。</p> <p>来春の飛散は、2007年よりやや多めで、過去5年間で3番目に多くなりそうです。ただ2005年・2006年の春には多く飛散しましたが、その年の半分以上の可能性もあります。春の訪れは早くなると考えられるため、飛散開始は早かった2007年とほぼ同じくらいで、2月上旬と思われる。</p>	